

行政視察報告書

平成30年 2月15日

笠岡市議会 議長 殿

(出張者) 議員 坂本 公明 議員
 議員 三谷 渡 議員
 議員 原田てつよ 議員

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 福岡県 柳川市議会

住 所	柳川市本町87-1
電 話	0944-77-8192
視察案件	観光振興の取り組みについて
期 日	平成30年 2月 8日 (木) 13時30分 から15時まで (後現地調査、案内)
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	川下り (冬場の目玉・コタツでの暖房対策) 柳川藩主立花亭「御花」・古民家「北島」
概 要	<p>◎S27年 北原白秋の没後10年、地元文化人60人が命日の前夜、水上パレードを行い、柳川観光協会を設立。</p> <p>◎S29年 白秋の少年時代を描いた「からたちの花を」日活が映画化し絶大なコマーシャルとなる。</p> <p>◎S30年 柳川商工会議所有志が出資し5隻の船を建造。川下りの誕生。</p> <p>◎S50年 山陽新幹線 新大阪～博多間全線開通。</p> <p>◎H3年 観光客100万人突破。消費額50億円超。地域経済を支える産業に成長。</p> <p>◎H6年 柳川雛祭り・さげもん巡り開始。</p> <p>◎H17年 1市2町が合併し柳川市発足。</p> <p>◎H21年 「柳川市観光振興計画」10カ年計画策定。九州自動車道共有開始。</p>

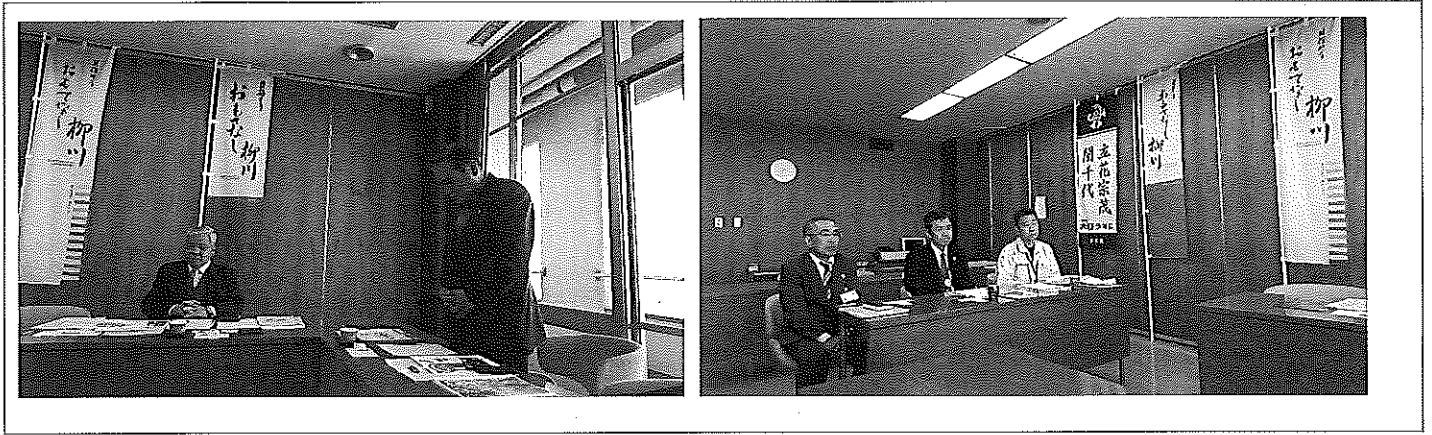
	<p>◎H23年～H29年 九州新幹線、九州自動車道、長崎自動車道が開通。利便性高まる。</p> <p>◎H29年 高規格道路「有明海沿岸道路」が完成し県内4市が直結。</p> <p>◎観光入込数はH23年以降伸び続けている。28年は、熊本地震の影響で減少したが、29年度は増える見込み。</p> <p>◎観光客の9割を食事（鰻、川下り、御花）が占めている。団体より家族が多い。</p> <p>*柳川発祥の鰻を扱う飲食店は20軒以上あり、年間150万匹の消費があり、農の食材、海の食材も豊富である。</p> <p>*川下りは、四季を通じ、昼も夜も楽しめる工夫をしている。</p> <p>*「御花」のシニアマネージャー中村氏の案内は、館内のみならず、古民家北島の雛飾り（さげもん）は、是非とも見て欲しいの想いでご案内いただき、暖かいおもてなしの心を感じる事が出来た。</p> <p>*観光の目玉である「川下り」の船頭が減少・高齢化が進み担い手の不足、海外からの観光客の増加に伴い言葉・接遇・知識等船頭の質の向上が求められるようになった事に伴い「柳川観光の未来を担うマルチプレイヤー事業」で目的を持った地域おこし協力隊を募集し育成する等、主要産業としての観光の振興への意気込みを感じた。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 福岡県久留米市議会

住 所	久留米市城南町15-3
電 話	0942-30-9305
視察案件	立地適正化計画（コンパクトシティ）について
期 日	平成30年 2月 9日（金） 10時30分から12時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	
概 要	<p>◎人口減、超高齢社会等の課題に対応するため、目指すべき都市の姿や目標を示した「久留米市都市計画マスタープラン」をH24年12月に策定し、コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市構造の構築を進めている。</p> <p>◎人口減少の克服と人口減少・超高齢化社会に対応した都市をづ合わせて行うことにより、持続可能な地域社会を形成することを目指し「久留米キラリ総合戦略」をH27年10月に策定し、中心拠点・地域生活拠点・産業拠点を定め、拠点周辺に人口密度と日常生活に必要な生活サービス機能の維持・誘導を図る。</p> <p>◎20年後の都市の姿を展望しつつ、目標年次をH37年に設定し、時間軸をもって運用することにより効果的なまちづくりが可能となることから、5年毎に計画たっせ状況を評価し、状況に合わせて各種誘導区域の取り組み内容を必要に応じて修正・見直しを行う。</p> <p>*計画の策定前に5地区で2回ワークショップを開催し、住民の意見を聞く場を設ける。</p> <p>*都市機能誘導区域及び居住誘導区域を図式化することで解りやすくし、意識を高める。</p> <p>*一ヶ所で、3～40人が参加。</p> <p>*地域の20%が山間部土砂災害警戒区域である。</p> <p>*区域外への対応についても細かく説明会等を開催し理解を求めていく必要がある。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

視察状況写真

福岡県 柳川市議会関係



福岡県 久留米市議会関係

